

節分、立春・・・ ～自分のこころの鬼は～そとっ！～

節分とは季節の節目である「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のことをいい、一年に4回あります。旧暦では春から新しい年が始まるとされていたため、「立春」前日の節分は大晦日に相当する大切な日となっています。昔は季節や年の分かれ目には「邪気」(人に害を与えようとする心、悪意、病気を起こす悪い気)が入りやすいと考えられており、様々な「邪気祓い」の行事が行われてきています。「豆まき」も新年を迎えるための邪気祓い行事のひとつです。鬼は邪気や厄の象徴とされていて、形の見えない災害、病、飢饉など想像を超えた恐ろしい出来事は鬼の仕業とされていました。また、鬼を追い払う豆は、五穀の中でも穀霊が宿るといわれる大豆です。煎った大豆を使います。本来、家中の戸を開け放し「鬼は外！ 福は内！」と大きな声で唱えながら家の外と内に豆をまくこととされています。柊(ひいらぎ)や 鯛の頭… などにもそれなりの由来がありますが、紙面の関係で割愛します。ちなみに「茶摘み」で歌われる「♪夏も近づく八十八夜…」も台風や大雨に注意とさ



↑ 突然現れて暴れる鬼さん「先生の言うことをきいているか〜っ」

れる二百十日もこの「立春」から数えて88日目、210日目ということであり、多くの雑節の基準となっています。

園では、豆まきをする前に、自分の中にいる直していきたい状態、「怒りっぽい自分、片付けをしない自分、人の話をきちんと聞かない自分、食べ物をはじめ好き嫌いの多い自分、自分が良ければと考えてしまうなど」を鬼と見立て豆をまいて追い払おうと話しました。幼稚園では、季節を感じることでできる行事が多く、忘れ去りかけていた伝統や慣習に心洗われることが多いと感じています。発達段階に合わせてしっかり伝えていきたいと思います。

各組とも発達段階に合わせ、節分や豆まきの慣習の説明を受けて、お面や三方などを作って当日を迎えました。何にでも一生懸命です。



突然、園庭に現れた鬼さん！「野菜嫌いの子を食べちゃうぞ〜」「先生の言うこときかない子は誰じゃあ」って・・・最後は仲直りしました。



鬼さんも入って仲良く記念写真を撮りました。

先生たち、園務員さんが素敵な壁面飾りを作ってくれました。可愛い鬼たち見参です。

